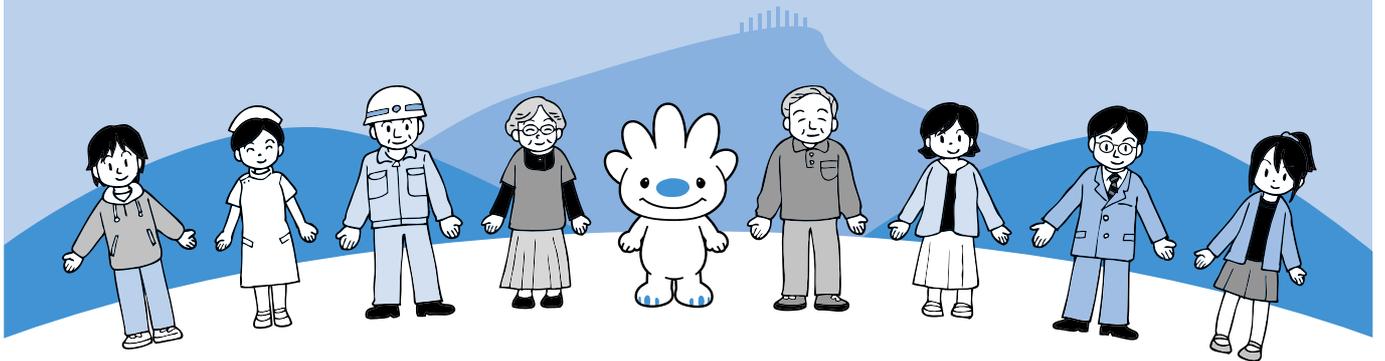


広げよう！ 見守りの輪

詳細

保健福祉課活動推進担当
☎ 681-2478

高齢化の進展とともに、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみで暮らす世帯が増加しています。こうした状況の中、高齢者等の孤立を防止するためには、住民同士のつながりを強め、普段の生活を支え合うことが重要となってきます。今回の特集では、住民同士で支え合おうと地域で行っている取り組みや、区による見守り活動への支援などを紹介します。



なぜ見守りが必要か？

私たちが暮らす地域には、高齢者や障がいのある方、子育て中の方など、さまざまな方が生活しています。

近年では、地域での人間関係の希薄化により、孤独死や引きこもりなどの社会的孤立といった問題が発生しています。また、高齢化・核家族化に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみで暮らす世帯が増加しており、支援を必要とする方も増えています。

身近な地域の中で、お互いのさりげない気遣いやちょっとした目配りがあれば、地域の中で発生するさまざまな福祉課題を早期に見し、問題の深刻化を未然に防ぐことができます。

また、防災への関心

が高まる中、日常的に見守り活動が行われている地域ほど、災害時における住民同士の助け合いが円滑に進むといわれています。このように、誰もが安心して生活することができるよう、地域住民の支え合い活動として見守り活動に取り組むことが、今後、重要となってきます。

■手稲区における高齢者世帯増加の推移

